

教育部 目標

【概要】

教育部は、教育総務課・学校教育課・教育センター・生涯学習課・公民館の5課で構成し、教育委員会の事務局、学校給食、学校教育の推進、生涯学習・社会教育の振興、文化財の保存・活用、社会体育の振興に関する施策に取り組んでいます。

教育部の目標（平成30年度）	教育部長 笹生 忠弘
【基本方向】 <p>豊かな心を育む教育と文化の香るまちをつくるため、学校再配置計画の着実な実施等による教育環境を整備するほか、地域と連携し、ふるさとに愛着を持つ子どもの育成を図ります。</p> <p>また、市民が生涯にわたって健康で自由に学び続けることができる社会の実現を目指し、多様な機会及び情報の提供を図ります。</p>	
【達成すべき目標】 <ol style="list-style-type: none">1 天羽中学校校舎改築の実施 関係部局と調整し、目標スケジュールを策定し、校舎解体及び改築を実施します。2 小・中学校再配置個別計画の推進 再配置後の円滑な学校運営に向けて関係学校ごとに設置した学校再配置個別計画検討協議会の3部会を中心に教育課程、PTA等の枠組みについて学校、保護者、地域と連携を図り、調整します。3 統合中心校の改修の検討 富津市小・中学校再配置計画における統合中心校である大貫中学校及び湊小学校施設改修の実施を検討します。4 統合共同調理場建設の検討 心身の健全な発達に資する学校給食の安定的な運営を行います。学校給食において地産地消を推進します。「学校給食施設整備に向けた提言書」に沿った新共同調理場建設にむけた検討を行います。	【目標の達成度】 <ol style="list-style-type: none">1 天羽中学校校舎改築の実施 関係部局と調整し、校舎解体工事を12月5日に終了しました。また、11月19日から校舎改築に着手し、令和元年11月18日完成、令和2年1月からの供用開始を目指します。2 小・中学校再配置個別計画の推進 学校再配置個別計画検討協議会では、新校名、新校章を制定したほか、統合PTAの規約等の枠組みや統合校の新教育課程について順調に協議を進めました。3 統合中心校の改修の検討 湊小学校については、平成29年度にトイレ改修を実施するとともに、今年度はベランダ手摺りの改修を実施しました。大貫中学校については、令和2年度にトイレ等を改修する予定です。4 統合共同調理場建設の検討 新共同調理場建設に向けて、「学校給食施設整備の提言書」を受け、実現に向けた調整の結果、中期収支計画に計上しました。令和5年の供用開始を目指し、整備スケジュールに沿って取り組んでい

5 就学援助制度の拡充

就学援助制度のうち、準要保護児童への入学準備金の小学校入学前支給を実現します。

6 旧市役所第二庁舎解体工事の実施

解体工事を実施します。工期は6～12月（予定）です。跡地の利用については、市民会館の駐車場とする予定です。

ます。

5 就学援助制度の拡充

小学校入学準備金の入学前支給については11件の申請があり、基準を満たした10件に支給しました。

6 旧市役所第二庁舎解体工事の実施

平成30年12月19日工事完了しました。跡地は、市民会館の駐車場として利用しています。（54台増となり、従来分と合わせて138台駐車できます。）

教育総務課 目標

【概要】

教育総務課は、庶務係・施設係の2係8名で構成し、教育委員会会議、教育行政の施策総括、学校施設の整備・補修、教育財産の管理に取り組んでいます。

教育総務課の目標（平成30年度）	教育総務課長 重城 祐
【基本方向】 少子化が進展するなかにおいても学校施設を安全で快適な教育環境に整備することにより、児童、生徒をはじめ学校関係者や地域住民にとって、安全・安心して利用できる施設にします。また、少子化抑制に向けて、適切な措置を検討します。	
【達成すべき目標】 1 天羽中学校校舎改築の実施 関係部局と調整し、目標スケジュールを策定し、校舎解体及び改築を実施します。 2 統合中心校の改修の検討 富津市小・中学校再配置計画における統合中心校である大貫中学校及び湊小学校施設改修の実施を検討します。 3 学校敷地の処理及び利活用方針の検討 旧環南小学校跡地及び再配置計画により閉校する学校等について、借地買収、未登記物件の処理等をし、跡地利用の検討を行います。	【目標の達成度】 1 天羽中学校校舎改築の実施 関係部局と調整し、校舎解体工事を12月5日に終了しました。また、11月19日から校舎改築に着手し、令和元年11月18日完成、令和2年1月からの供用開始を目指します。 2 統合中心校の改修の検討 湊小学校については、平成29年度にトイレ改修を実施するとともに、今年度はベランダ手摺りの改修を実施しました。大貫中学校については、令和2年度にトイレ等を改修する予定です。 3 学校敷地の処理及び利活用方針の検討 金谷小学校の未登記物件の学校用地を購入しました。今後は、普通財産の管理及び処分を総務部に移管します。

学校教育課 目標

【概要】

学校教育課は、学校再配置推進室・学務係・給食係・共同調理場の1室3係15名で構成しています。教職員の服務監督、児童生徒の健康安全に係わる事業や就学支援事業の展開、安全安心な給食の企画・運営、学校再配置計画の円滑な推進等に取り組んでいます。

学校教育課の目標（平成30年度）	学校教育課長 高梨 正巳
【基本方向】 子どもたちの生きる力と健やかな精神を育むため、健康安全に係る事業や就学支援事業を推進します。安全安心な給食事業の安定的な運営とともに新共同調理場建設の検討を行います。教職員の高い倫理観を継続させます。	
【達成すべき目標】 1 児童生徒及び教職員の保健、安全管理 児童生徒教職員の健康診断を完全実施し、心身の状況を把握して適切な指導を行います。学校の実情に沿った交通安全教室や防犯教室の開催により、登下校の安全指導を徹底します。 2 就学援助制度の拡充 就学援助制度のうち、準要保護児童への入学準備金の小学校入学前支給を実現します。 3 統合共同調理場建設の検討 心身の健全な発達に資する学校給食の安定的な運営を行います。学校給食において地産地消を推進します。「学校給食施設整備に向けた提言書」に沿った新共同調理場建設にむけた検討を行います。 4 教職員の管理に関すること 校長との面談や訪問を学期1回実施し、市内の職員の状況を把握するとともに、教職員の高い倫理観を継続させます。 勤務時間削減に向けた対策の実施を推進します。	【目標の達成度】 1 児童生徒及び教職員の保健、安全管理 児童生徒及び就学児、教職員の健康診断も予定通り実施できた。市内の児童生徒の健康状態も概ね良好です。 教員・保護者・ボランティア等の登下校の見守り等の実施により児童生徒の安全指導を徹底しています。 2 就学援助制度の拡充 小学校入学準備金の入学前支給については11件の申請があり、基準を満たした10件に支給しました。 3 統合共同調理場建設の検討 新共同調理場建設に向けて、「学校給食施設整備の提言書」を受け、実現に向けた調整の結果、中期収支計画に計上しました。令和5年の供用開始を目指し、整備スケジュールに沿って取り組んでいます。 4 教職員の管理に関すること 課長の訪問や教育長の面談を定期的実施するとともに、教職員の人事異動も内示まで順調に実施できました。

学校再配置推進室 目標

【概要】

学校再配置推進室は、担務制 3 名で構成し、学校教育環境の整備のための学校再配置の推進に取り組んでいます。

学校再配置推進室の目標（平成30年度）	学校再配置推進室長 鈴木 規幸
【基本方向】 豊かな心を育む教育と文化の香るまちをつくるため、子どもたちの生きる力と健やかな精神を育む学校再配置計画による教育環境整備を着実に実施します。	
【達成すべき目標】 1 小・中学校再配置個別計画の推進 再配置後の円滑な学校運営に向けて関係学校ごとに設置した学校再配置個別計画検討協議会の3部会を中心に教育課程、PTA等の枠組みについて学校、保護者、地域と連携を図り、調整します。 2 子どもの安全安心の確保 関係学校ごとの再配置後の児童生徒の安全安心を確保するため、登下校の安全や精神面のケアのための個別計画を作成します。 3 再配置に向けた施設等の整備 再配置以前の施設やスクールバスの整備、移転等、課題の解決に向けた計画の立案と各方面との調整・折衝にあたります。 4 学校再配置に関する広報活動の推進 保護者並びに住民に対して、進捗状況の報告や決定事項の周知を図ります。	【目標の達成度】 1 小・中学校再配置個別計画の推進 学校再配置個別計画検討協議会では、新校名、新校章を制定したほか、統合PTAの規約等の枠組みや統合校の新教育課程について順調に協議を進めました。 2 子どもの安全安心の確保 学校再配置以前からの児童生徒の交流を図る交流授業・合同行事を各校の計画に応じ、のべ14回実施することができました。次年度も継続して実施の予定です。 3 再配置に向けた施設等の整備 スクールバスに関する意見交換会を保護者と実施し、「スクールバス設置運行計画」策定に向けた取り組みを進めているほか、施設整備、移転に向けた調査、調整を進めていくことができました。 4 学校再配置に関する広報活動の推進 保護者並びに住民に対して、のべ16号の「再配置だより」や「スクールバスQ&A」等の発行により進捗状況等を周知しました。

教育センター 目標

【概要】

教育センターは、担務制4名体制で、教育の実践指導、教育関係職員の研修、教育資料の収集及び作成、教育相談など教育振興上必要な事項に取り組んでいます。

教育センターの目標（平成30年度）	教育センター所長 河野 信成
【基本方向】 <p>子どもたちの生きる力と健やかな精神を育むため、「富津を愛し、富津の未来を託せる児童・生徒の育成」を図ります。</p> <ol style="list-style-type: none">1 心豊かで逞しい児童・生徒の育成を図ります。2 確かな学力を身につけた児童・生徒の育成を図ります。3 児童・生徒の成長を支える教育力の高い学校づくりを進めます。	
【達成すべき目標】 <ol style="list-style-type: none">1 きめ細かな学校教育の推進<ul style="list-style-type: none">・層別研修会の実施、充実を図り教職員の力量の向上につとめる。 初任者研修会（4月、8月） 指導補助教員等研修会（6月、1月） 管理運営研修会（6月、7月、1月） 夏季教職員研修会（10回） 以上の研修を年間を通して計画的に実施する。2 学力向上推進事業の推進<ul style="list-style-type: none">・学力向上推進委員会の開催(年3回)・「読むこと」「書くこと」の指標の目標値達成に向けた取組を実施する。・授業改善のための校内相互授業参観実施を推進する。・教科指導員による授業改善への指導、助言を推進する。・教務主任等研修会と連携し、各学校で研究授業を実施し、授業改善に努める。・年間を通して計画的に実施する。	【目標の達成度】 <ol style="list-style-type: none">1 きめ細かな学校教育の推進<ul style="list-style-type: none">各研修会を計画どおり実施することができ、のべ369人の参加がありました。特に夏季研修会では、現在の教育課題に合わせて内容や講師を選定し、好評を得ることができましたが、今後更に、教職員のニーズの把握に努め、より充実した研修を計画していきます。2 学力向上推進事業の推進<ul style="list-style-type: none">「読むこと」「書くこと」への取組については、中間調査と年度末調査を実施し、目標達成に向けて少しずつではあるが、改善されている傾向がみられました。また、授業改善については、アンケート調査の結果、各学校とも取り組んではいるものの、なかなか改善できていない実態であることから、来年度の学力向上推進委員会で検討事項とする予定です。

生涯学習課 目標

【概要】

生涯学習課は、社会教育係・文化係・スポーツ振興係の3係10名で構成し、生涯学習・社会教育の振興、青少年健全育成、移動図書館・公民館図書室の整備・運営、生涯学習バスの運行、文化財の調査・保護・活用、体育施設の管理・運営、社会体育の振興、社会体育関係団体・指導者の指導・育成、スポーツ・レクリエーションの推進に取り組んでいます。

生涯学習課の目標（平成30年度）	生涯学習課長 當眞 嗣史
【基本方向】 「市民一人ひとりが生涯にわたって学ぶことができ、その成果を生かすことのできる多様な学習機会の拡充」を目指し、生涯学習課が課題としている事業や実施計画で計上されている事業等を確実に推進します。	
【達成すべき目標】 1 図書館機能の整備・運営 公民館・市民会館の図書室及び移動図書館車等の充実や、公共施設の活用も含めた図書館の設置について、社会教育委員会において調査検討を進めながら、引き続き蔵書整理し、既存読書施設の利用者数の向上を図ります。 2 文化財の保存・活用のための整備 文化財の指定及び指定候補の調査を行い新たな指定を目指すとともに、富津公民館及び本庁舎の展示スペース等で出土品を活用し、市民の文化財への関心と保存への理解を喚起し、郷土愛を育む一助とします。 3 体育施設の老朽化対策について 安全・安心な体育施設を維持するために、施設を管理している指定管理者と共同で、経年による劣化や故障、予想される不具合に対しての「点検シート」によ	【目標の達成度】 1 図書館機能の整備・運営 ボランティア養成講習を3回実施するとともに、40人を超える図書ボランティアの協力を得ながら蔵書整理等を進めました。また、9月と3月に開催した図書リサイクル会では延べ633人の市民に3,426冊の除籍図書が還元され、6,900冊ほどが古紙としてリサイクルされました。図書施設の環境が改善され、市民の認識も高まり、H28年度に254人だった新規登録者数がH29年度427人、H30年度451人と増加しました。 2 文化財の保存・活用のための整備 内裏塚古墳群の保存整備についての検討及び鋸山の文化遺産指定・認定に向けた協議をはじめました。また、富津公民館パネルの更新を実施し、市内外の416人に対して市内遺跡の案内を行い、文化財への関心と保存への理解を喚起し、郷土の誇りを高める一助としました。 3 体育施設の老朽化対策 指定管理者と共同で作成した「体育施設修繕カルテ」を更新し、安全・安心な施設を維持するために、経年による劣化や、予想される不具合等の施設の状況を

り施設の状況を把握します。

把握しました。

公民館 目標

【概要】

公民館は、中央公民館係・富津公民館係・市民会館係の3係14名で構成し、公民館・市民会館の管理運営・社会教育事業に取り組んでいます。

教育部の目標（平成30年度）	公民館長 渡邊 房男
【基本方向】 公民館は、地域住民の教育・コミュニティ活動の拠点として、いつでも、どこでも、だれもが、生涯を通じて楽しく学ぶことのできる充実した環境を提供します。	
【達成すべき目標】 <ol style="list-style-type: none">1 市民文化祭事業の振興 実行委員会組織により、充実した文化祭が開催できるよう、事業実施のサポートを行うとともに、参加者のよりいっそうの掘り起こしを行い、出演・出展者数3,300人を目標値とします。2 成人式事業の開催 新たに20歳になる新成人から実行委員を選出し、実行委員会を組織します。 実行委員会は主体となって活動し、公民館はこれをバックアップします。こうすることで、新成人が自らつくる式典となることを目標とします。3 ふつつ学びの門の開催 実行委員会を組織し、地域における芸術文化の振興と意識高揚が図られるような事業を実施します。（本事業は隔年実施ですが、実行委員会の議決により平成30年度も継続して実施することとなります。）4 旧市役所第二庁舎解体工事の実施 解体工事を実施します。工期は6～12月（予定）です。跡地の利用については、市民会館の駐車場とする予定です。	【目標の達成度】 <ol style="list-style-type: none">1 市民文化祭事業の振興 11月2日から4日までの3日間、富津市民文化祭2018を開催し、参観者数14,271人（前年18,274人）、出演・出展者数3,389人（前年3,282人）の参加で目標値を達成することができました。2 成人式事業の開催 平成31年1月13日（日）富津公民館ホールにて開催し、新成人該当者437人のうち、出席者数322人、出席率73.68%でした。新成人で実行委員会を組織し、運営したことにより、厳粛な中にも温かみの溢れる成人式を実施することができました。3 ふつつ学びの門の開催 平成31年1月20日（日）富津公民館ホールにて、落語家「三遊亭朝橘」独演会及び影絵劇団「きらきら草子」による公演を開催し、当日の来場者数は557人でした。435件のアンケート集計では「よかった」が393件と、満足度が高い内容で実施することができました。4 旧市役所第二庁舎解体工事の実施 平成30年12月19日工事完了しました。跡地は、市民会館の駐車場として利用しています。（54台増となり、従来分と合わせて138台駐車できます。）